



発行・カトリック水巻教会  
 編集・広報委員会  
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
 〒807-0025  
 TEL 093 (201) 0680 FAX (201) 7354  
 第305号

ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

## 心のやさしい人たち 広報 岩本

数年前から何回か、普通にいえば「開発途上国」と言われる国と地域に行く機会がありました。どの国にも懸命に働いている人たちがいて、元気に学校に行く子どもたちの笑顔がありました。

そこには私たち日本の社会で常識になっている電話・電気・水道・交通などが充実している国もあれば、不足している国もたくさんありました。私たちは自分の周りにあることはなんでも普通にあるものと思っていますが、社会資産が充実している国ばかりではないのです。

しかし、社会的なものが充実しているか、いないかに関わらず、何日か滞在するとその国の社会と住んでいる人たちの雰囲気微妙に違うことに気がつかれます。

社会資産が充実し始めているのに、人々には激しい社会格差がありました。そして、車がたくさん走る道の周りにたくさんのゴミが散らばっていました。争いが激しく、声高な口論をしている人を各地でたくさん見ました。

一方でそんなに豊かでもないのに、朝には人々が道を掃除していて、温かい雰囲気が感じられる国もたくさんありました。そこでどうしてなのか考えました。その結果、気が付いたのは、これらの国には共通した、深い信仰がありました。

スリランカには人口の70%の仏教徒とすばらしい世界遺産の仏教遺跡、そして国民の25%のカトリック教徒と教会。ミャンマーのパガンには彼方まで続くパゴダや荘厳な仏教の寺院群。ブータンでは天まで届くと思わせるほど高い標高にある山の畑と、その家の間で毎朝一日の無事を祈って焚く杉の木の煙、経文を入れて回すマニ車など、信仰につながるものがどこにもあります。そして共通しているのが、食料自給率が100%であることでした。

豊かではないけれど、信仰があり食料が自給できれば生活の厳しさも理解できて柔和な生活をおくれるのだと痛感しました。子どもたちの笑顔に心が清められ、真剣に祈る姿に心を打たれたものです。

私たちは12月に主イエスの生誕を祝います。その私たちは柔和な姿勢と笑顔を社会に示しているでしょうか。

社会問題に向き合う	2面
聖書への案内	2面
東日本震災地ボランティア	3面
1日黙想会のお誘い	3面
堅信式・旧約聖書から	4面
典礼委員会議事録	5面
子どもたちのページ	6面
教会学校のページ	7面
おしらせ・短歌	8面

## 社会問題に向き合うカトリック教会の基本姿勢

Q 社会問題にかかわることとキリスト教の説く「救い」とは関係があるのでしょうか？

この問題は、わたしたちが何げなく使っている「救い」ということばをどうとらえるかということと深くつながっています。

イメージとしては、自分一人で神さまのいらっしゃる樂園にいることを救いと考えるよりも、神さまのふところでは皆が本当に仲良くなっている中に自分も一緒にいることを救いと考えるほうが、より聖書的といえるでしょう。このように神とわたしたち皆の関係が完成する（一つになる〔エフエソ1・10参照〕）ことが、神の国の実現であり、わたしたちの救いなのです。しかもこのことは、キリストによってこの世からすでに始まっているのです。「父よ、あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちのうちにいる

ようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります」（ヨハネ17・21）。

社会問題という、つい自分とは関係のない遠いことのように受け取ってしまいがちですが、実はわたしたちにとって大切な、一人ひとりの人間の上に起こっていることなのです。わたしたちは、すべての人が皆神の子として一人ひとりが大切にされてほしい、そして互いに仲良くあってほしいと願っていますが、そうならない現実の背景には、社会を動かしている人々の価値観や、政治、経済を含むさまざまな原因があります。教会がこれらの問題を福音的な視点から指摘し、かかわることは、この世からすでに始まっている「和解の実現」と「救い」のためなのです。

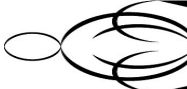



聖書への案内 No.32

テトスへの手紙

パウロの弟子であったテトスは、ギリシャの南にあるクレタ島にパウロから派遣されました。最後はクレタの最初の司教になり、この地で死にました。テトスが埋葬された場所には教会が建てられていましたが、テトスの遺骨を中心都市のケンクレアに移したので、教会は遺跡になっています。クレタ島はギリシャ本土の南100Kmにある4000年前から栄えた島で、世界遺産にされたミノア遺跡などがあり、島の南側の海岸はパウロがローマに連れて行かれる時に着いた、良き港があります。

テトスがいたころ、中心都市ケンクレアの南の山の稜線がギリシャ神話のゼウスの顔に似ているので「この島には神がいる」とクレタの人は言っていたそうです。そこでこの手紙の冒頭に「クレタ人はいつもうそつき、悪い獣、怠惰な大食漢だ」と書いてあります。この箇所はクレタの人たちには悔しい話で、私が行ったときガイドは「私たちは決してうそつきでも、大食漢でも、大酒飲みではありません」と言ったのを覚えています。


 東日本震災地ボランティアに参加して
 
 山本 栄

この秋、宮城県で行われた第25回ねんりんピックに参加した機会に、東日本震災地で1週間ボランティアをしました。活動地点は、岩手県大槌町の「カリタス大槌ベースキャンプ」です。10月16日、ねんりんピック閉会式の後、ベースキャンプに向いました。

三陸沿岸の鉄道を利用する予定でしたが、何ヶ所か寸断されていると聞き、このコースを断念して、仙台→花巻→釜石→大槌のコースを採りました。花巻→釜石は鈍行で2時間かかります。釜石から大槌までは車で30分です。車中2人の見知らぬ方との出会いがありました。岡山から出てきたという若い女性は、大槌町の福祉施設を慰問し楽器の演奏を二日間行うとのこと。一人の男性は復興支援のため、北九州市から釜石市に派遣されて、復興に携わっているとのことでした。被災地と向き合う、この方たちと出会えたおかげで、長い道のりも退屈しないですみました。不思議な縁を感じ、一期一会に感謝しています。

ベースキャンプは古木神父様と5名のスタッフで運営されています。宿舎の一室に小さなチャペルが設えられてあり、毎日、朝7時からミサがあります。

私が着いた当初は4名のボランティアしか居ませんでした。2、3日のちには30名ほどに増えていました。人の増減が極端です。

瓦礫の処理などは殆ど済んでおり、現在は被災者の生活支援を主にした仕事に変わってきています。長崎の純心大学から来ていた6名の学生たちは、仮設住宅の子供たちとの交流会を計画していました。河川敷で花植え作業をしたすぐそばには、廃校になった大槌中学校が無残な姿で立っていました。ここで学んでいた生徒たちは何処に散っていったのだろうか、胸が締め付けられる思いです。すぐそばを流れる大槌川には鮭の群れが、何ごともなかったかのように遡っていました。

大槌町では町長を始め33名の職員が亡くなっています。庁舎が壊滅的な打撃を受けたことで行政の立ち遅れがあり、復興も他の自治体より遅れています。

仮設住宅で不自由を強いられている人達のことを思うと、一刻も早い復興を祈らずにはおれませんでした。



### 一日黙想会のお誘い

テーマ：「きっと来る！ 信仰年を生きる」

指導司祭：林尚志神父（イエズス会、下関労働教育センター長）

日時：2013年1月19日（土）10：00～15：00

場所：カトリック水巻教会 費用：500円（弁当代）

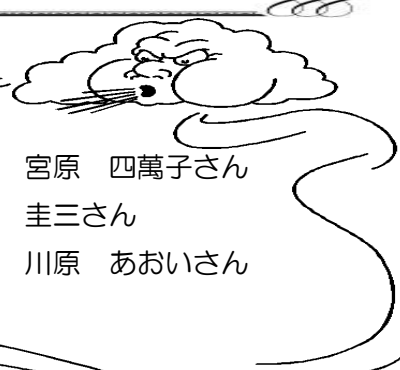
プログラム：10:00～12:00 講話1 13:00～14:30 講話2

12:00～13:00 昼食 14:30～15:00 ミサ

世話係：ペルーの貧しい子どもを支えるレプトン会 岩本ナセ（遠賀地区）

11月4日(日)

堅信式



梅の木地区 前田 彩花さん 前田 晃佑さん  
 海老津地区 窪田 賢人さん 折尾地区 宮原 四萬子さん  
 遠賀地区 間柴 百花さん 井上 美歩さん 樋口 圭三さん  
 高須・青葉地区 城 正彦さん 吉田地区 川原 あおいさん  
 中間地区 豊岡 香純さん 川島 明日香さん

堅信を受けて、正直ほっとしています。堅信を受ける前は、教会に来て堅信を受けていないことが、自分の心の中でネックになっていました。

そして、今回堅信を受けることができ、やっと教会の一信者になれたことを、とても嬉しく思います。

仕事の関係で、毎週日曜日に、教会に来ることができないので、行けるときは必ず教会に行こうと思っています。

受堅者代表 遠賀地区 樋口 圭三

皆様のおかげをもちまして、息子が堅信を受けることができ、やっと親として少しできたようです。主の愛のお恵みを心から感謝しております。これからもよろしくお願い致します。

セシリア 樋口 峰子



## 旧約聖書から、イスラエル=パレスチナ問題へ

三谷 尚

聖歌の選曲において、数十年前から、カトリック聖歌集のみの使用がなされなくなり、答唱詩篇が多く用いられる様に変化がありました。ここでは、言うまでもなく旧約聖書の詩篇が用いられています。私は、この変化で、イエスの教え、聖体の神秘、マリア様への畏敬を歌で歌唱する機会が減ったことに危惧を覚えています。同時に、旧約をどのように読むのかについては、イエスの教えを学んだことに比べて、私たちへの信仰教育も議論も乏しいのではないのでしょうか。

そこで、次のことに言及するのは、不信心で不勉強な私が言っているのか躊躇もしますが、畏れ多いことながら少し書かせて頂きます。

旧約聖書には我々の持つべき信仰の規範は込められているとは思いますが、社会学的に見て「ユダヤ人至上の考え方」の問題点を考えてはいけなないでしょうか。これは、近年、出エジプトの史実性をイスラエルの歴史研究者ですら認めない発言が現れたこととも、関連させて考えるべきことです。この史実性を客観的に見つめつつ、旧約聖書の出エジプトの信仰的な意味をもう一度、問いなおすべきかと思ひます。 (5面下へ続く)

## 2012年度 第6回 典礼委員会議事録

開催日時：2012年11月14日(水) 19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、山本、安永、三谷、樽角、松尾、矢田

## 《報告事項》

1. 11月1日(木) 諸聖人の日ミサ参列者：34名
2. キーボード購入済み(三谷氏)
3. 今後の予定

- ・11月23日(祝日) 教区の日

2013年

- ・1月27日(日) 北九州信徒協典礼部会 14時 小倉教会
- ・2月10日(日) 典礼研修会(全信徒対象)午後 小倉教会  
講師：白浜満神父(日本カトリック神学院)
- ・3月第1土・日曜日 年の黙想 中村克徳神父(黙想の家)

## 《審議事項》

- 1 水巻教会共同回心式の日程：12月20日(木) 10:30、19:30
- 2 フルート奏者工藤 萌氏とのリハーサル日程：12月9日ミサ後 10:30～  
「アベマリア」「きかせてください」「きたれ友よ」「あめのみつかいの」
- 3 クリスマスの典礼
  - ・クリスマスキャロル 19:00～19:15(聖歌隊)
  - ・導入部のナレーションを更新：高校生2人(原稿と降誕前夜祭進行表は、別紙)
  - ・アドベント・プラント(リース)は、12月2日より使用(久保園氏)
  - ・馬小屋の飾り付け(芝、砂利など)、11月25日(日)ミサの後、台を配置する。  
組み立て出来上がりとは片付けを写真撮影する。(安永氏ほか)
  - ・電飾は、12月2日(俵氏ほか)
- 4 その他

二階の聖歌隊席への階段に防音用カーペットを試用してみる。



(4面から続き)

決して、旧約から去るという意味ではありません。

また、これらのことは、歴史的には過去の事、私の信仰のこと、ではなく、近現代のイスラエルとパレスチナの歴史、および、今日、戦闘までも繰り広げられているイスラエル国とパレスチナ国家の激しい関係にも関連しています。私が子どもの時は、中東戦争を見て、キリスト教徒たる者はイスラエルの勝利、領土拡大を望むべきだと考えました。今日、この問題について、イエスキリストの教えに基づけばどう考えるべきか、それが私たち、カトリック信徒にも問われていると思います。

なお、この教会において、まだ細々ですが、今年度初めから、青年会の方とこの勉強を初めています。皆様のご協力をお願いします。



子どもたちへのページ  
らくだい しょうがっこう  
落第することがある小学校

みな がっこう べんきょう  
皆さんは学校で、勉強をしないと  
せんせい おこ  
先生に怒られることがありますか。勉強  
せいせき わる  
の成績が悪いとどうなりますか。

くに い がっこう せいと  
ある国に行ったとき、学校の生徒がた  
そと で べんきょう  
くさん外に出て勉強していました。

ガイドさんに聞くと「今は試験前なの  
で、みんな勉強をがんばっています」と

い  
言うのです。この国では試験前になると、  
じゅぎょう じしゅう  
授業がなくなり自習になるそうです。そ  
いっしょうけんめい しけん  
のときみんな一生懸命、試験のための  
べんきょう  
勉強をします。どうしてでしょうか。

らくだいせいど  
「落第制度」があるからです。

らくだい わか いちねん べんきょう  
「落第」は分りますか。一年の勉強が  
お しけん ごうかく うえ  
終わっても、試験に合格しないと上のク  
あ  
ラスに上がれないのです。たとえば、  
いちねんせい にねんせい にねんせい さんねんせい  
一年生から二年生に、二年生から三年生  
になるためには、試験に合格しないといけ  
ないのです。

わたし たび しょうがく  
私たちの旅のガイドさんは、小学  
いちねんせい とき あさ がっこう い じ  
一年生の時、朝、みんなが学校に行く時  
かん いえ で ときどき がっこう い  
間に家を出てから、時々しか学校に行か

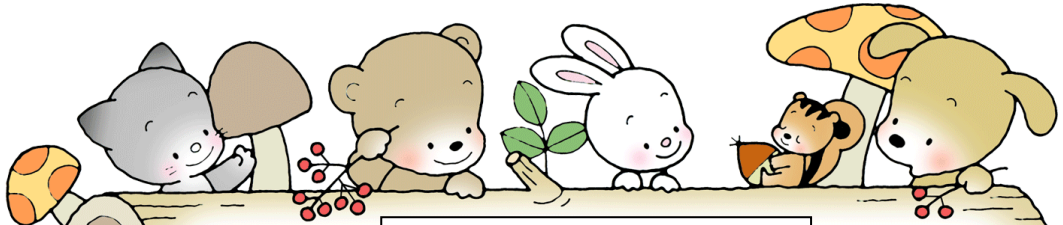
ないで遊びに行っていたそうです。そのた  
め、さいご しけん わか  
最後の試験はまったく分らなかったの  
らくだい つぎ とし いちねんせい じ  
で落第して、次の年も一年生でした。自  
ぶん いっさいとしたひと おな  
分より一歳年下の人と同じクラスで  
べんきょう はず  
勉強するのはとても恥ずかしかったの  
で、それから高校まで一生懸命勉強  
したそうです。

いちねんせい せいと きょうかしょ よ  
一年生のかわいい生徒も教科書を読  
んでいっしょうけんめいべんきょう  
一生懸命勉強していますが、それ  
なんにん ひと らくだい  
でも何人もの人が落第するそうです。  
にほん がっこう い そつぎょう  
日本では学校に行くだけで卒業できま  
すが、このように落第制度があったら、み  
んなはどうしますか。

ところでいっしょうけんめいべんきょう  
一生懸命勉強しても、どう  
きょうかしょ おぼ  
しても教科書を覚えられなかったらどう  
するのでしょうか。この国では、覚えられ  
ないところをかみさま まえ ひろ  
ないところを神様の前に広げて「このペ  
ージとこのページが覚えられませんので  
ねが おが  
お願いします」と拜むそうです。みんな  
もイエス様の前でお願いしますか。そん  
さま まえ ねが  
なことをしなくても大丈夫ですよね。



# 教会学校のページ



10月28日 1・2・3年生

今日の福音を読んで、バルティマイさんの気持ちになって、  
願いを考えました。

11月11日

《牧山神学生による、小学生部の初勉強会》

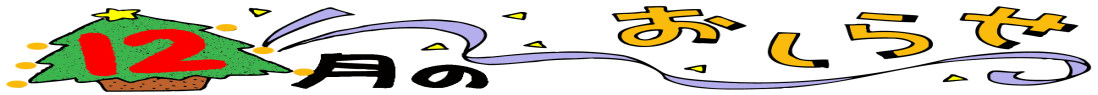
- ・ 牧山神学生の自己紹介
- ・ 子ども達の自己紹介
- ・ 福音マルコ12章38節～44節の音読と解説



11月3日 召命の集い

子ども達の参加は、2名でした。  
その中の、野田君が、司教様のミサで、共同祈願を言っ  
てくれました。  
来年は、多くの参加を希望します。





### ★特別献金★

○10月21日 世界宣教の日  
34,600円  
ご協力ありがとうございました。

### ★共同回心式★

日時 12月20日(木)  
午前10時30分～ 午後7時30分～  
場所 水巻教会

なお、この日が都合の悪い方は、他の教会の共同回心式の日程は、「信徒教だより」に載っていますので、ご覧ください

### ★街頭募金について★

日時:12月16日(日)11時～ 12時～  
場所:グランモール水巻

参加できる方は、聖堂後ろに名前を記入してください。子ども達の参加も大歓迎です。よろしくお祈りします。

### ★レプトン会からのお願い★

伊万里のトラピストのクッキーとミサワインの申し込みを12月9日まで受け付けます。売上金はペルーへの支援の一部となります。申込表は聖堂の後に置いてあります。品物は12月24日クリスマスミサ後にお渡しします。

### ★ふれあい会よりお願い★

日曜日のミサ後に、お茶やコーヒーを用意して出している、ふれあい会です。  
お家に余っている、コーヒーやクリープ、ココア、紅茶、砂糖、お茶の葉などがありましたら、ご寄付をお願いします。

### ★レプトン会★

一日黙想会を1月に開催します。詳しくは、6面に掲載しています。参加をお待ちしています。

折尾地区

### 西山寿美枝さんの短歌

クリスマスサンタクロースの起源など

調べて貼りぬ信者のわれは

灰色の雲低く這い明けやらぬ

街に点々灯のともりたり

うす氷踏めばりばり音はじけ

負けない意志の静かにたちぬ

星ひとつ同じ場所にて輝けり

早くおいでと誘うがごとく

胡蝶蘭逝きたる友の置きし花

うすくれないの翳をもちて

蘭の鉢ひとつを残し逝きし友

愁いの中に心ひそめる